



三菱パイプ用ファン

〔トイレ・洗面所・居室用〕

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-06PLDs	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-06PXLds	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-06PDs	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-06PXDs	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—
V-07PLDs	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-07PXLds	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-07PDs	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-07PXDs	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—

形名によって取扱いが異なりますので、あらかじめご使用の形名をご確認ください。形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

取扱説明書

お客様用

お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- 正しく安全にお使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。なお、ご使用前に「1.安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- この製品は日本国内用です。日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

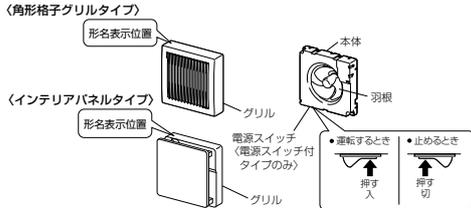
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。 ●製品に直接水やお湯、かび取りなどをかけない ショート・感電の原因。 ●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。 ●交流100Vを使用する 火災・感電の原因。 ●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火・感電・けがの原因。 《異常・故障例》 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。 ●お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。 	<p>注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎があったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所では使用しない 火災の原因。 ●運転中に羽根の中に指や物を入れない けがの原因。 ●電気工事は必ず電気工事に依頼する 感電の原因。 ●お手入れの際は手袋を着用する 着用しないけがの原因。 ●お手入れの後の部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。 ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

2.ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所が中性以外の洗剤や消毒剤などを頻りに使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください。(中性洗剤をご使用ください)。
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、漂白剤、化学ぞうきの薬剤、グリーンナーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など
(異常音の発生、変質、変色や故障の原因)

3.各部のなまえ



4.使用方法

運転開始と停止は壁のコントロールスイッチで行います。

24時間換気タイプ

24時間換気用としてご使用ときは、特別な場合(運転異常・点検・お手入れ)を除き電源スイッチは「入」でご使用ください。

(24時間換気機能付機種は本体に電源スイッチがあります)

グリル、羽根にほこりなどが付着しますと風量低下や異常音発生の原因になります。

約4か月に1度を目安に清掃してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください)をお願いします。

警告	注意
<p>警告 お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。</p>	<p>注意 お手入れの際は手袋を着用する 着用しないけがの原因。</p>

お取り扱い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、羽根に衝撃を与えたり、モーターの軸に無理な力をかけないでください。(異常音発生の原因)

1. 清掃部品のはずしかた

グリルの取手部を手前に引きながら斜めに持ち上げてはずす。

- 本体からグリルをはずす際、グリル正面を支えながらはずしてください。(落下によるけがの原因)

お取り扱い

- インテリアパネルをはずす場合は、前面パネルに手を掛けしないでください。前面パネルの取付部(引掛けメカ)がはずれる場合があります。(ツメがはずれた場合、再度差し込みば元に戻せます)

2. 清掃のしかた

1. グリルは中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸して汚れを落とすからきれいな水で洗い、よく乾かす。
2. 羽根、本体は中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取った後、洗剤が残らないように乾いた布でよくふく。

3. お手入れ後の清掃部品の据付け

1. 据付けは取りはずしと逆の順序で行う。
2. 据付け後、次の確認をする。
 - (1) グリルが確実に据付けられていますか。
 - (2) 異常な音が出ていませんか。(必ず運転をして確認してください)

6.修理を依頼される前に

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申し付けください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが切れていませんか 本体電源スイッチが「切」になっていませんか	「入」にします 本体電源スイッチを「入」にします
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていますか 羽根・グリルにほこり・異物が付着していませんか	据付け直します 清掃します
羽根が逆回転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します
焦げ臭いにおいがする	故障です 運転を停止してください	販売店または工事店へ連絡します

●モーターの軸受が時間経つにつれ、回転がなじんで音が変化することがありますが異常ではありません。

7.アフターサービス

■修理を依頼されるときは

- 修理料金は
 - 技術料+部品代(出張料)などで構成されています。
 - 技術料…故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。

●ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱パイプ用ファン
2. 形名 ○○○○
3. お買上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買上げの販売店か下記の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内(住宅用換気送風機)

取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品など)は、**ご相談窓口**へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様から提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いいたします。
1.お問合せ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品の取り扱いに限りお客様よりご提供いただいた個人情報、本目的のみに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合せ(ご依頼)内容の記録をすることがあります。
3.あらかじめお客様からご了解いただいた場合、および下記の場合を除き、当社は第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務移転する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 住宅用換気送風機の購入相談・取扱い方法

●三菱電機換気送風機技術相談センター
フリーダイヤル **0120-726-471** (無料)
携帯電話・PHS対応
三菱電機株式会社 中津川製作所 FAX (0573) 66-5659 (有料)
〒528-5505 岐阜県中津川市御船町1番3号

■ご相談対応
平日(土・日・祝及び弊社休日以外)
9:00~12:00
13:00~17:00

修理窓口 住宅用換気送風機の修理の問合せ・修理の依頼 受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター
フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)
パソコン・スマートフォン **www.melco.co.jp**
2次元コードでも簡単にアクセスできます。

携帯電話・PHSの場合
TEL **0570-01-8634** (有料)
FAX **0570-03-8634** (有料)

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

- 電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品を製造切取り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

8.仕様

形名	消費電力(W)		風量(m³/h)		騒音(dB)		質量(kg)
	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
V-06PLDs	1.7	2.1	30	36	22	26.5	0.38
V-06PXLds	1.7	2.1	30	36	20.5	25	0.46
V-06PDs	1.7	2.1	30	36	22	26.5	0.37
V-06PXDs	1.7	2.1	30	36	20.5	25	0.45
V-07PLDs	1.7	2.1	40	48	21.5	26	0.43
V-07PXLds	1.7	2.1	40	48	19	24	0.51
V-07PDs	1.7	2.1	40	48	21.5	26	0.42
V-07PXDds	1.7	2.1	40	48	19	24	0.5

※特性はJIS C 9603Iに基づく開放時の値です。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】
※経年劣化により危険の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。

【設計上の標準使用期間とは】
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づき経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間を指します。

※本製品の設計上の標準使用期間は、製造を開始して、JIS C 9921-2に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。
●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

■標準使用条件 JIS C 9921-2

環境条件	電圧	単相100V	定格電圧による
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による	
湿度	20℃		JIS C 9603から引用
温度	65%		
設置条件	標準設置	取扱説明書の「8.仕様」による	

■負荷条件
想定時間 1年間の使用時間
換気扇^{注)} 2410時間/年
居室 2193時間/年
トイレ 2814時間/年
浴室 1671時間/年

注) 24時間換気のもの、8760時間/年とする。

愛情点検 ☆長年ご使用の換気扇の点検を!

ご使用の際、このようなことはありませんか。
●スイッチを入れても羽根が回転しない。
●運転中に異常音や振動がする。
●回転が遅い、または不規則。
(モーターがメンテナンスが必要な部品です)
●こげ臭いにおいがする。
●本体据付部に腐食、破損等がある。

使用中止 故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客さまメモ

サービスを依頼されるとき便利です。

形名 ()

お買上げ店名(住所)(電話番号) ()

お買上げ年月日 年 月 日

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。(材質名は主材料にISO規定の略号を使用。)

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8866 岐阜県中津川市御船町1番3号

三菱パイプ用ファン

(トイレ・洗面所・居室用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-06PLD ₃	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-06PXL ₃	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-06PD ₃	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-06PXD ₃	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—
V-07PLD ₃	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-07PXL ₃	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-07PD ₃	角形格子グリル	ホワイト	連結端子	—
V-07PXD ₃	インテリアパネル	ホワイト	連結端子	—

形名によって取扱いが異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
形名表示位置は「3.各部のなまえ」を参照ください。

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。
- 形名以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹きつけの強い場所では深形フードを据付けることをおすすめします。(深形フード以外の場合、壁面汚れ、雨水浸入の原因になります)
- 24時間換気機能を備えていない製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。

形名	適用パイプ	付属部品
V-06タイプ	塩化ビニル管 VP75 (内径77mm) SU75 (内径75mm)	木ネジ2本
V-07タイプ	塩化ビニル管 VU75専用 (内径83mm)	木ネジ2本

1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改造や工具を必要とする分解はしない (火災・感電・けがの原因) ●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショート・感電の原因) ●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因) ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電氣的に接触しないよう据付ける (漏電・発火の原因) 	<p>誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高温(40℃以上)になる場所や直接炎のある場所、油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない (火災の原因) ●浴室など温気の多いところには据付けない (感電・故障の原因) ●据付けの際は手袋を着用する (着用しないときが原因) ●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う (落下によるけがの原因) ●グリルや部品の据付けは確実に行う (落下によるけがの原因) ●電気工事は電気工事店に依頼する (感電の原因) ●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因) ●据付け後、長期間使用しないときは、分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電・漏電火災の原因)

2.据付前のお願

- 高温(40℃以上)になるところに据付けないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、異臭などの原因になります)
- システム部材(屋外フードなど)は壁面にあったものを選んでください。(壁面により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

3.各部のなまえと外形寸法図

●各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3.各部のなまえ」をご確認ください

外形寸法図

- V-07PLD₃
- V-07PD₃
- V-06PLD₃
- V-06PD₃

電源スイッチ(電源スイッチ付タイプのみ)

付属品

本体固定用木ネジ2本

形名	A
V-07PLD ₃	φ78
V-07PD ₃	φ78
V-06PLD ₃	φ70
V-06PD ₃	φ70

外形寸法図

- V-07PXL₃
- V-07PXD₃
- V-06PXL₃
- V-06PXD₃

電源スイッチ(電源スイッチ付タイプのみ)

付属品

本体固定用木ネジ2本

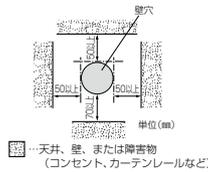
形名	A
V-07PXL ₃	φ78
V-07PXD ₃	φ78
V-06PXL ₃	φ70
V-06PXD ₃	φ70

4.据付方法

1 据付前の準備

壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

- 据付場所を決めて壁穴をあける。
 - 右図の壁穴位置をご確認ください。
 - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

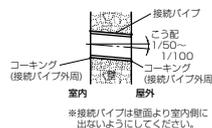


お願い

- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。

2.壁穴に接続パイプを確実に固定する。

- 接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。
- 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。



お願い

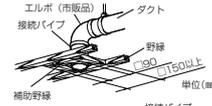
- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこの配をつけ、固定してください。

天井据付けの場合(野線工事とダクト工事)

- 右図のように野線工事をし、ダクト工事をする。

お願い

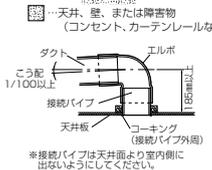
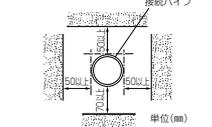
- 接続パイプが壁や障害物から右図の位置になるようダクト工事を行ってください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合やメンテナンスができなくなる場合があります。また、製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。



- ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。
- エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。

4.接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこの配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご依頼ください。

■市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。

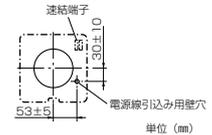
警告

- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

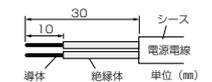
注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う
- 接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

- 電源電線を右図の位置から室内に引き込む。
 - 電源電線はVVFφ1.6またはφ2.0 2芯をご使用ください。



- 電源電線の先端を右図に合わせ皮むきする。
 - 端子部への水の浸入・ほこりの浸入を防ぐため皮むき方法を必ず守ってください。



3 本体の据付け(壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

- 本体からグリルをはずす。
- 結線をする。
(電気工事は電気工事士の方が実施してください)

- ①連結端子カバーを右図のように開ける。
- ②電源電線を連結端子に差し込み。
- ③連結端子カバーを元どおり閉じ確実に固定する。

お願い

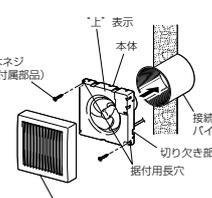
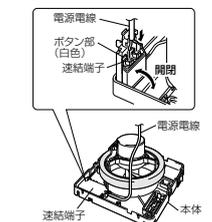
- 電源電線は確実に連結端子に差し込みます。連結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を連結端子よりはみ出す場合は、ボタン部(白色)を押しながら電源電線を引き抜いてください。

- 本体の上下を確認して接続パイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
 - 本体刻印の「上」を上側にして据付けてください。
 - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。

- グリルを本体に据付ける。
 - グリルの方向を確認して、本体に据付ける。
- 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。



(図は角形格子グリルタイプ)

5.試運転

- 製品が運転・停止するかを確認してください。(製品に電源スイッチを備えている機種は「入・切」の状態を確認してください)
- 異常な音・振動などがないかを確認してください。